

# こどもとしょかん 6月あかべえ展示コーナー

## 梅雨(つゆ)の本

タイトル	著者名	出版社	
『あめくんデビュー』	坂井 敏法    作 植田 知成    絵	日本新薬	E/ア
1週間後のデビューを楽しみにしている、あめくん。待ちきれなくて、ドキドキソワソワ。でも、デビューの前日、「明日はどうかいい天気になってください」と泣いている男の子がいて…「あめ」にまつわるやさしいお話です。			
『あめふりうります』	平田 昌広    文 野村 たかあき    絵・原案	講談社	E/ア
ねこきは、面倒くさがりでぐうたらな猫。ふと耳にした話から、おかしい商売を思いつきました。「ひが一しのはたけに あめ さんざん」ととなえて顔をごしごしすると、あら不思議。となえた場所に雨が降りました。たちまち評判を呼び、たくさんのお客が来ましたが…。			
『あめがふってよかったね』	よしい たかこ    作 石倉 ヒロユキ    絵	佼成出版社	E/ア
運動会を楽しみにしているけんちゃん。雨が止まなければ、来週に延期だと聞いて、がっかり。「あめ、やめー！」「あめ、ふるなー！」と叫んだけんちゃんでしたが、「あめふれ！あめ、もっとふれ！」という声が聞こえ…1人と1匹のかわいい友情のお話。			
『かさもっておむかえ』	征矢 清    さく 長 新太    え	福音館書店	E/カ
急に雨が降り始めたので、かおるは駅にお父さんを迎えに行きました。ところが、待っても待ってもお父さんは現れません。待ちくたびれて、オレンジ色のとらねこと一緒に地下鉄からの乗換駅まで行ってみることにしましたが、乗り込んだ電車は動物でいっぱい…。			
『カエルのおでかけ』	高畠 那生    [作]	フレーベル館	E/カ
カエルの“いい天気”は晴れではなく、雨。大雨の中、張り切っておでかけします。雨の匂いもいいし、全身びしょぬれもいい気持ち。帰り道、とうとう雨が止んでしましますが、さした人が濡れる“びしょぬれかさ”があるから、大丈夫！カエルの楽しいおでかけの1日を描いています。			
『あめふり』	さとう わきこ    さく・え	福音館書店	E/ア
ずっと雨が降っていて、遊びに出られないばばあちゃん。雲の上のあめふらしさんに、ちょっと休んでほしいとお願いしたら、もっと雨が降ってきました。怒ったばばあちゃんは一計を案じて…。			
『かさ かしてあげる』	こいで やすこ    さく	福音館書店	E/カ
あめが降ってきたのに、かさがなくて困ったなつちゃん。森の動物たちが、自分のかさをなつちゃんに貸してくれますが、なかなかぴったりのかさがありません…動物たちのユニークなかさがとても楽しいです。			
『カエルくんのおひるね』	宮西 達也    作・絵	すずき出版	E/カ
何日も雨が降らなくて、元気がないカエルくん。木の上でおひるねを始めました。カマキリが近づき、カエルくんをねらいますが、下からトカゲが出てきて、カマキリは逃げてしまいました。今度はトカゲがカエルくんをねらうと、下からネズミが登ってきて…ハラハラドキドキの絵本です。			
『カエルと王かん』	なかじま ゆうき    作 山田 真奈未    絵	BL出版	E/カ
ある日、ぴかぴかと光る王かんを見つけたカエルのビクトール。頭にのせて、水たまりに映った自分を見ていたら、何だかとてもえらくなった気分になりました。仲間のカエル達も思わずおじぎしてしまい、ビクトールの命令に従いますが…不思議な力を持つ王かんの話です。			
『カイロ団長』	宮沢 賢治    作 こしだ ミカ    絵	三起商行	E/カ
舶来のウェスキイを次から次へと飲んでしまい、勘定が払えなくなったあまがえるたち。警察に届けると言われ、泣く泣く店主のとのさまがえるの家来になりました。集まりを“カイロ団”と名付け、団長になったとのさまがえるは、あまがえるたちに無理難題ばかり申し付けますが…。			